

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
部会資料の開示について	各委員が町民から意見を吸い上げるためには、詳しく説明する必要がある。そのために、部会資料をどこまで開示してもよいのか検討する必要がある。	基本的に学校部会で委員に配布された資料は開示する。ただし、協議の上、開示しない方がよいとなった資料については、例外的に開示しない。
行事等の整理の仕方について	行事等の整理の仕方を共通化するために分類方法を検討する必要がある。	4つに分類し、各校の行事等を一覧にして検討していく。 ①学校が主体となって地域が協力するもの ②地域が主体となって学校が協力するもの ③町が主体となって学校が協力するもの ④その他 また、学校共通の「地区運動会」と「学習発表会と地区文化祭の関わり」については、町校長会とまちづくり協議会に調整を依頼することとする。
教育課程に関する今後の進め方について	令和2年度～令和3年度のスケジュール	学校の教育課程内外で取り組む行事(重点化のうえ厳選したもの、理事会では、スリム化も図って欲しいという意見もあった。)とそれ以外の行事(地域の方々と取り組む行事等、見直し図る行事等)を仕分け検討する。 学校部会で検討していることを各まちづくり協議会等、各PTA、各学校と情報共有しながら合意形成を図り、学校部会としての意見をまとめ、町校長会に意見書を出す。
	令和4年度のスケジュール	学校部会の意見書を基に新校の教育課程を学校が作成する。(教育課程の最終的な編成の責任は、学校長にある。) それを学校部会にフィードバックしてもらい、検証する。
交流学习について	今後の進め方	令和2年度中に交流学习の計画等を検討し、学校部会の意見を町校長会に伝える(町校長会で方向性を決定し、学校で具体的な計画を立てる)。 令和3年度から交流学习を実施する。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
行事等の整理について	各校に共通しているものは学校部会では検討せず、統合してからも実施していく。	1. 読み聞かせ、2. 人権の花、3. クラブ活動での取り組み、4. 自然教室、5. ダンス教室、6. ジオパーク学習、7. 稲作学習・体験、8. お元気ですか訪問、9. 赤ちゃんふれ合い体験
	教科の学習は、教科のねらいに沿って学校が計画して行うことなので、学校部会では検討しない。	1. 社会科に関するもの、2. 理科に関するもの
	その他、学校部会では検討しないもの(学校に任せるもの)	サクラマス放流
令和2年度以降に検討するもの	国語科の学習	教科書を超えた内容のものは検討する余地あり。
	生活科の学習	遊佐町の山、川、海を体験できるような学習にしたい。
	行事等	高瀬、吹浦等の相撲大会等は地域の特色があるので、丁寧に議論する必要がある。合意形成ができるのか、統合小学校で実現可能なのか、そして、子どもの学びにつながるかが大事である。
	まちづくり協議会が主体で行っているもの	①さまざまな行事があるので、全体でやるのか、地域の子どもたちだけが参加するものなのか考えないといけない。 ②基本、土日の地区の行事であれば、学校に関係なく参加可能。学校の学習発表会と地区の文化祭の関わり合いは、まちづくり協議会、校長会の両方で話し合って決め、その後、検討していく。 ③まちづくり協議会側からすると、行事に子どもたちが参加することによって、大人も参加する。そういった形でイベントをしているので、子どもたちの学びにつながるか考えていかなければならない。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項 目	検討内容	今後の方針
	四大祭	<p>①統合後は、発表の準備などは難しくなるのではないかと。 ②統合後は、準備をなくしても参加できる内容に変更するのも良いのではないかと。 ③政養祭は、事前にどういう人物なのかを調べて学習する内容となっている。 ④項目を縦軸だけで見るのではなく、遊佐町の宝なので横断的に考える必要がある。どの地域も愛郷心を育てたいと思っている。藤蔵祭、戴邦碑祭、政養祭、諏訪部祭について、なぜ毎年行われているのか、地域の方が参加しているのか、語ってもらったりインタビューしたりするから意義がある。そのうえで、町の行事(四大祭)を総合で学んでいくことは、子どもたちの学びには非常に効果的であると思う。</p>
	その他	<p>「松の活動」を継続するかどうかについては、統合小学校で何を学校で大事にするかによるかと思う。藤崎小学校では、地域とのつながりを大事にしている。4年生以上が、緑の少年団に入って、地域の方やPTAも含め松を大事にしていこうという内容の活動である。</p>

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項 目	検討内容	今後の方針
	「総合的な学習の時間」についての学校部会としての方向性(地域の自然、文化、歴史、行事等の取扱い)	この地域のこの行事を必ず取り入れるという形でなく、地域のさまざまな素材(自然、文化、歴史等)のリストを準備し、学校側で選択できるようにする。どの内容を取り扱うのかについては、子どもの実態等に合わせて学校に委ねる。 ただし、取り扱う内容は固定しない方がよい。毎年、子どもの実態等に合わせて、取り扱う内容を選択していく。子どもたちが楽しく学べるようなものにする。 地域に子どもの声をという意見があるので、地域の日を設けることも考慮していく。
(令和2年度第6回学校部会) 特に合意形成を図る必要がある内容について	総合的な学習の時間について、各校での学習内容をもとにリストを作成し、児童の実態やねらいにそって年度ごとに選択する案	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が何を学びたいのかを大事にしながら教育課程を組み立てる。 ・遊佐町全体をフィールドにした豊かで深い学びの場にする。 ・前年と同じ内容を選びがちにならないよう配慮が必要。 ・毎年実施しない内容の場合、地域の先生が対応できない事態も考えられるため、対策が必要。 ・教育課程の中でやるもの、地域でやるもの(授業以外)を精査する。 ・取組み方次第で実施可能なものがあるので、工夫する。
	まちづくり協議会が主体となって行っているもの	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに参加を呼びかける行事の整理や呼びかけ方について検討が必要。 ・行事日程や内容について、まちづくり協議会同士ですり合わせた方がよい。 ・例えば、それぞれの地域の日を決めることで、今まで参加していなかった他地区の行事に参加できるようになるのではないかと。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
(令和2年度第6回学校部会) 交流学習について	方向性と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画では令和3年度から実施する予定 ・新しく行事を起こすのではなく、今ある教育課程の中で実施する。 ・新学習指導要領、コロナ対策など、学校を取り巻く状況は厳しく、現場への負荷・ストレスも増えているため、立ち止まって考えることも必要。 ・交流学習のねらい、目的をはっきり決めておく。 ・地区、学年など、ある程度の枠をつくって実施する。 ・自然教室(宿泊体験学習)では、オリエンテーションなどで交流活動をする等工夫する。 ・時間の確保が難しくなるので、一堂に会するほうがよい。 ・地域の良さを互いに教えあう交流の仕方がよい。 ・人間関係は高学年になるほど馴染むのがむずかしくなるので、交流について配慮が必要。 ・現在でも交流している行事もある(スポ少など)ので、既存のものを見直す対応でもよい。教員の負担を減らす工夫が必要。 ・スポ少などで既に交流のある関係だけが濃くならないように配慮が必要。
(令和2年度第6回学校部会) 今後について	意見の集約方法 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会合等が中止となり、地域の意見を集める場がない状態になっているが、地区やPTAの役員等が集まって情報共有・意見交換をしていく。第7回の学校部会で意見を集約する。 ・町民向けに広報を利用するなどして進捗状況を報告した方がよい。 ・話し合いの途中のものを公表して、意見を吸い上げた方がよい。 ・文章だけではなく、動画での情報発信はどうか。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
(令和2年度第7回学校部会) これまでの学校部会の検討事項に関する意見について	各地区の学習素材の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・上寺に関する学習は残したい。 ・湧水のビオトープを生かした学習ができるが良い。 ・町全体に関わるものを優先して組み込んではどうか。 ・相撲大会はまちセンの体育部会で進める方針。 ・各地区で優先的に残していきたいものをどうするか。 ・どんな学校をつくるかという学校像から、総合的な学習へ反映させていく必要がある。 ・小学校1校、中学校1校となるので、小から中までの学びの繋がりが必要ではないか。
	学習素材のリストの優先順位	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学びが優先されることが大前提である。 ・リストの上位を必ず取り入れなければならないという制約があるわけではない。 ・各学校区ごとに大事だと考えている内容を出し合うことも必要である。 ・各学校区から、ぜひ学びに取り入れてもらいたいものを1つか2つ出してもらおう。 ・優先させたい内容がわかるようにリストを作成する。 ・事前に意見を出してもらい、次回の学校部会でリストにして検討する。
(令和2年度第8回学校部会) 教育課程に関する意見書(案)について	学習素材のリスト	<ul style="list-style-type: none"> ・学習素材の分類の仕方は様々あるが、概ね原案通りでよい。厳密に分類しすぎない方がよい。 ・環境は全ての分野に共通している。 ・どの学年が学習するかなどは、学校側に任せる。 ・内容の細かい点を各学校毎に再調整し、次回までにリストを完成させる。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
(令和2年度第9回学校部会) 教育課程に関する意見書(案)について	学習素材のリスト	<ul style="list-style-type: none"> ・自然分野の鳥海山関連の学習は、ジオパークの学習として位置づける。 ・四大祭は中学校も含めて実施を検討する。 ・学習素材について具体的にどのように取り組んで行くかは、今後も検討していく必要がある。 ・【別紙】のように町校長会へ意見書を提出する。
(令和2年度第9回学校部会) 交流学习の計画(案)について	令和3年度遊佐町立小学校交流学习活動の計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・【別紙】のように計画している。 ・学校部会としては、令和3年度の交流学习の状況を2学期の終わり頃に確認していく予定。
(令和2年度第9回学校部会) その他	地区運動会と文化祭(学習発表会)について	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭(学習発表会)は、地区運動会と同様に、子ども達が参加しやすいよう日程を合わせた方がよい(教育課程に組み込まない形で)。
(令和3年度第10回学校部会) 第9回まで報告等	第9回学校部会までの経緯 ①教育課程に関する意見書 ②令和3年度交流学习の実施状況と計画	<ul style="list-style-type: none"> ・遊佐小学校の校舎を使った交流学习の回数を増やす方向で検討する。 ・中止となった交流学习については、別の機会に実施する方向で検討する。 ・地域から学校が遠くならないこと、教育は地域で行うことが基本である。地域の力が大事である。 ・教育予算の確保が大事であるので、各方面で声を出していく。
(令和3年度第10回学校部会) その他	今後の進め方等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もそれぞれの立場から情報を出し合いながら、情報共有をしていく。 ・学校の方針が出てから、必要に応じて各まちづくり協議会のことを検討する。 ・令和3年度の状況と令和4年度の計画等を確認する場を設ける。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
(令和3年度第11回学校部会) 報告等	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回学校部会の確認 ・「総合的な学習の時間」等で学ばせたい学習素材のリスト(教育課程に関する意見書) ・交流学习について「令和3年度の交流学习の状況」と「令和4年度遊佐町立小学校交流学习の進め方について」 	<ul style="list-style-type: none"> ・【別紙】報告どおり
(令和3年度第11回学校部会) 各地区行事等と新小学校との 関わりについて	<p>新校における地区運動会の持ち方</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校行事として行うかどうか ②職員の参加体制 <p>地区特有の行事や学習について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業日にしない(学校行事にしない)と、子どもや家庭は自由参加の意識を持つことになる。そうすると、参加が少なくなり、運動会自体が盛り上がらなくなるのではないか。 ・教職員が参加することで、学校と地域がつながる感じを持てる。子どもたちの把握をしていただければ有り難い。 ・今後、子どもの人数が減っていく中で、地区運動会のあり方を考えていかなければならない。各まちづくり協議会が主体となり、学校に頼らない運動会を考えていく必要がある。学校行事として続けていくのは難しいのではない ・地域としては、形は変わっても継続していくことが大切である。 ・これまで学校と連携しながら行ってきた行事を、各まちづくり協議会だけで担っていくことを考えると、職員体制や予算面で不安が残る。事務的な部分が多いかと思うが、各まちづくり協議会の充実に向けて町からのフォローが必要となる(これまでのように学校で担うことは難しい)。
(令和3年度第11回学校部会) その他	今後の進め方や学校部会に関わらない事柄	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は3月頃を予定 ・スクールバスの停留所への要望 ・理事会の早期開催

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項 目	検討内容	今後の方針
(令和3年度第12回学校部会) 書面開催 報告等	<ul style="list-style-type: none"> ・第11回学校部会の確認 ・交流学习の日程(案) ・町校長会としての方向性(地区運動会と地域行事) 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流学习に日程について、一部変更あり ・3月末に「まちづくり協議会連合会と校長会との打ち合わせ会」を開催予定
	<p>〈まちづくり協議会連合会との打合せ会〉</p> <p>① 3月25日(金)</p> <p>1 新小学校での住民運動会への参加について</p> <p>2 地区特有の行事や学習について</p> <p>(令和5年度からの見守り隊のあり方についても検討)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会としての方向性について提示。今後、各地区間の調整が必要になる。(開催時間、雨天の場合の対応、やるかやらないかの判断、小学校の種目と種目内容等) ・各地区での今後の運動会のあり方、グラウンドの維持管理が課題 ・学校行事としてやっていくことは難しい。残していくとすると、どのような形でできるかの検討が必要。参集範囲を広げることができるものもある。 ・推進員を中心として各地区連絡員(中学生)も関わらせながら進めていきたい。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項 目	検討内容	今後の方針
	<p><まちづくり協議会連合会との打合せ会> ② 6月16日(木) ③ 7月15日(金) 1 新小学校での住民運動会への参加について</p> <p>2 地区特有の行事や学習について</p> <p>(令和5年度からの見守り隊のあり方・CSと地域学校協働活動についても検討)</p>	<p>・基本的には、旧学区6地区に分かれて学校行事(授業日)として行う。午前で運動会が終わる地区もあるため、学校行事として扱うのは午前のみとし、午後からは各家庭の任意による地区行事としての参加とする。</p> <p>・ただし雨天時は、地区によって運動会実施の可否が異なるため授業日とはしない(学校は休業日)。雨天時でも運動会を実施する地区についての児童の参加は、地区行事として各家庭の任意とする。</p> <p>・統合後に予想されることとして、これまで各学校と地域(まちづくりセンター)が連携を図りながら行ってきた行事(例えば、高瀬相撲大会・剣道大会、吹浦祭等)については、5校が統合となれば同様の活動は困難になることが予想される。そのため、児童参加が伴うこのような行事を統合後も継続させていく場合は、地域(まちづくりセンター等)が中心となり、学校とつながりながら進めていくことが必要になると考えられる。行事案内配布の必要があれば、学校を通じて行うことで全町の児童に参加を呼び掛けることが可能となる。また、活動の内容にもよるが、体験的に学校のクラブ活動として行うことも考えられる。</p>

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項 目	検討内容	今後の方針
<p>(令和4年度第12回学校部会) 交流学習の様子</p> <p>新校教育課程の進捗状況</p>	<p>交流学習の様子を映像視聴</p> <p>新校のグランドデザイン(案)について 新校の年間教育計画について(案)について</p> <p>その他</p>	<p>・6月から7月にかけて行われた各学年(1～5年)の交流学習の様子映像を見もらった。どの学年も、5校の児童が楽しく、仲良く活動する様子が見られた。感想では、「早く4月にならないか楽しみです。」という声が聞かれた。11月14日に全体交流学習、12月から各学年の交流学習2回目が行われる予定。</p> <p>・新校の学校経営の指針となるグランドデザイン(案)を部会長が説明した。ふるさとを愛する体験を重視しているところがよいという意見や鳥海山のすそ野となる幼保小の連携を入れるべきという貴重な意見をいただいた。また、1年間の学校の教育計画案を説明した。</p> <p>・児童が安全に登下校できるかといった、スクールバスに対する不安や地区懇談会のあり方に対するご意見をいただいた。</p>